

第2学年 道徳学習指導案

平成23年11月10日(木) 第5校時  
 在籍児童数 計28名

1 主題名 生まれてきてよかったな 3-(1) 生命の尊重

2 資料名 「大切なたからもの」  
 (出典 埼玉県道徳指導資料集 きょうもげんきに 低学年用)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、低学年内容項目3-(1)「生きることを喜び、生命を大切にすることをねらいとしている。」これは、中学年内容項目3-(1)「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすること。」につながり、さらに高学年内容項目3-(1)「生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。」へとつながっていく。そして、中学校では内容項目3-(1)「生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。」へと発展していくものである。

生命を尊重することは、すべての教育の基本である。自他の生命の尊さを心から理解するとともに、動植物の生命などを慈しむことのできる児童を育てていく必要がある。生命への畏敬の念をもち、生きることの尊さすばらしさをこの時期から十分感得できるようにしたい。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、ミニトマトの世話などは毎日頑張っている児童がほとんどで、世話を忘れてしまった児童は数人であった。ほとんどの児童は植物の飼育栽培などを通して、生命の尊さに気づき、死の悲しさもある程度経験している。しかし、日常の実態は命は当たり前のこととして深く考えないで生活していることが多い。また自分と同じように他の生命も大切なものであることに、十分思いが至っていないところも見られる。

小さい弟や妹がいても、ライバルであったり、物をとられたりしているのか、かわいいか宝物などのようには思えてはいない児童も見られる。兄弟がいない方が良いという児童は少ないが、お互いに不満を持っているのが現状である。

また、生まれた時の話を両親から聞いたことがない児童が21人いた。そこで、両親からどのように思われていたか分からない児童のために、資料を通して、どの子も大切にされてきた・愛されていたということを実感させ、自他の命を大切にしようとする心情を育てたいと考える。

児童の実態を把握するために次のような意識調査を行った。 28人実施

問1	兄弟はいますか?	いる 24人	いない 4人
	誰がいますか?	兄(11人) 姉(9人) 妹(6人) 弟(9人)	<のべ人数>
問2	兄弟(弟や妹)がいるとどうですか?	嬉しい(10人)	いやだ(2人)
		・かわいい。遊んでくれる。お姉さんになった。	
	兄弟が生まれた時、赤ちゃんを見た?	はい(10人)	
問3	いとこや親戚に小さい子がいますか?	いる(6人)	いない(11人)
問4	生まれた時の話を聞いたことがあるか?	ある(7人)	ない(21人)

児童は、生まれた時の話を聞いていない子が多かった。また、兄弟がいてうれしかった・遊んでくれるという感想が多かったが、宝物とまで思っていない児童も多かった。そこで、主人公春人の気持ちを十分考えさせること、また保護者が書いた手紙を読ませることで、主題に迫っていきたいと考える。

(3) 資料について

本資料は、うまれたばかりの弟に会うことを楽しみにしていた主人公春人は、弟をだっこしながら嬉しそうに話しかける。しかし、弟の誕生を喜ぶ両親の様子を見てみると、うらやましくなってしまうが、両親に二人とも宝物と言われて弟は自分の宝物と思えるようになってきたという内容である。

低学年の児童には、具体的な出来事や経験を通して自他の生命の大切さを理解させながら、生きている証や喜びを実感させることで生命の大切さを自覚させることが求められている。本資料の主人公、春人の家族とのかかわりや変容を通して、生命について考えさせたい。

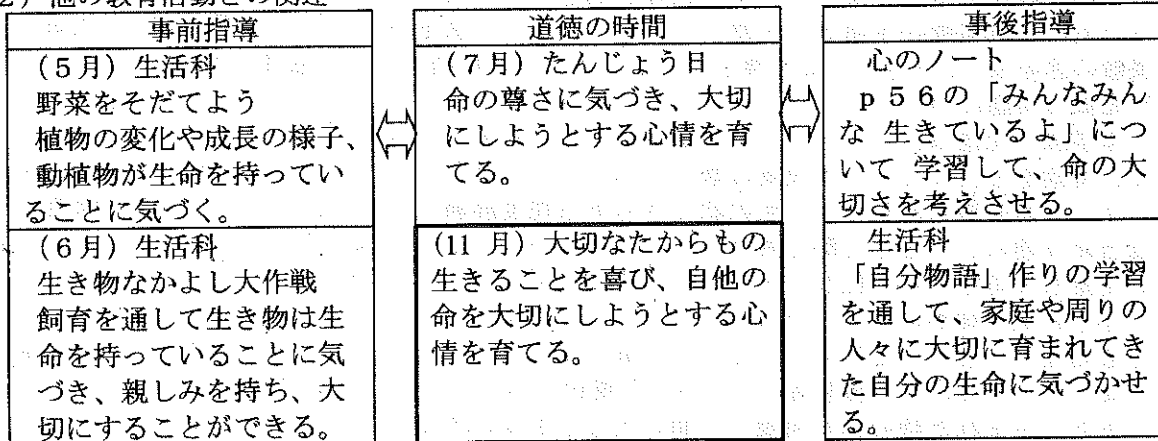
4 研修主題とのかかわりと他の教育活動等との関連

(1) 研修主題とのかかわり

「生きる力」をはぐくむ小中一貫教育の推進  
 人とかかわりを大切にし、共によりよく生きようとする子どもの育成  
 (道徳教育を通して)

児童一人一人に自分の考えを表現させる工夫としてワークシートを活用して考えていることをしっかり表現させたい。主人公春人の気持ちを考えさせることで、自他の命を大切にすゝる気持ちを育みたい。また、自分の生活を振り返る場面では、家庭からの手紙を読むことで親の愛情をしっかりと受け止め、これからも自分の命を大切にしていこうという意欲を高めたい。また、終末の場面でゲストティーチャーとして保護者の母親に生まれた時や毎日の生活の中で感じている事を話してもらい、児童に両親の思いを十分実感させ、自他の命を大切にしようとする心情を育てたい。

(2) 他の教育活動との関連



家庭との連携

展開の「見つめる」の所で保護者に書いてもらった手紙を読ませるので、事前に一人一人に書いてもらう。  
 成長アルバム親子・家族で見ても話し合う。

5 本時の学習指導

(1) 生きることを喜び、自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

段階	学習・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆◇評価(評価方法)	時間
導入	1 赤ちゃんの写真や動物の誕生したばかりの写真を提示し、思ったことや気づいたことを話し合う	・かわいい。 ・小さい。 ・家の兄弟もそうだった。 ・わたしも小さいころの写真を見た。	・赤ちゃんの写真を見て、感じたことを発表することで、ねらいとする価値へと方向付けとする。	5分

		<ul style="list-style-type: none"> <li>赤ちゃんの写真を 見て感じたことを 発表しましょう。</li> </ul>			
展 開	と ら え る	<p>2 資料「大切な からもの」の条件 ・ 状況を知り話を 聞く。 ○「春人」の気持ち を考えながら話を 聞きましょう</p> <p>3 心に残ったこと を発表する。</p>	<p>登場人物主人：春人(ぼく) 相方：お父さんお母さん 条件・状況 生まれたばかりの弟に会うことを楽しみにしていた主 人公の春人は弟をだっこしながら嬉しそうに話しかけ る。しかし弟の誕生を喜ぶ両親の様子を見ていると、う らやましくなって下を向いてしまう。</p>	10 分	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>スキップをしながら 会いにいくところ</li> <li>ちよっとうらやまし くなって下を向いた ところ</li> <li>一番のたからものが できたところ</li> </ul> <p>◇1回の範読で児童に伝わるよ うに、補足をしながら気持ち をこめて読む。</p> <p>☆主人公の気持ちを考えながら 聞き、感想を持つことができ たか。</p> <p>【発言・観察】</p>		
深 め る		<p>4 「春人」の気持 ちを中心に話し合 う。</p> <p>(1)スキップしなが ら弟に会いに行っ た春人は、おそる おそるだっこしな がらどんなことを 思ったでしょう。</p> <p>(2)お父さんとお母 さんがうれしそう に話すのを見てい るうちに、どんな 気持ちになったで しょう。 さっきはうれし かったのに、どう して下を向いてし まったのでしょ う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かわいいなあ。</li> <li>元気に生まれてきて よかった。</li> <li>会いたかったよ、ぼ くがお兄ちゃんだ よ。</li> <li>これからいっぱい遊 ぼうね。</li> <li>弟ができてうれし い!</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>広人はうらやまし いな。</li> <li>お父さんとお母さん に「宝物」って言わ れていいなあ。</li> <li>ぼくよりきっと広人 の方が大切なのかも しれない。</li> <li>ぼくもそんな風に言 ってほしいな。</li> <li>ぼくは宝物じゃない のかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無事生まれてよかったという 喜びの気持ちといとおしさを 十分出させたい。</li> <li>赤ちゃん人形をだっこしなが ら、主人公になりきって気持 ちを考えさせ弟が生まれた喜 びに共感させ、小さな命の尊 さを考えさせる。</li> <li>弟が生まれた喜びに共感させ、 生まれたばかりの生命の尊さ を考えさせる。</li> </ul> <p>☆赤ちゃんが無事生まれて喜ん だことを実感できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弟の誕生を喜びながらも、両 親の様子を見て、うらやまし くなってしまい、やきもちを やいてしまう主人公の気持ち に共感させる。</li> </ul> <p>・うつむく主人公の顔に吹き出 しをつけたワークシートに、 気持ちを書かせる。</p>	20 分

		(3) 弟のことを「一番の宝物」と思えたぼくはどんな気持ちだったのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくも大切に思われてきたんだな。</li> <li>・今度はぼくが広人を大切にするんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の大切さを実感させる。</li> <li>・元気もりもりの主人公の気持ちをワークシートに書かせる。</li> <li>☆主人公の気持ちに共感しながら、自分や弟が生きていることを実感できたか。</li> </ul> <p>【ワークシート 観察】</p>	
見 つ め る	5	お家の人からの手紙を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくが生まれた時こんな気持ちだったんだ。</li> <li>・大切に育ててくれたんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に児童には知らせず、保護者を書いてもらった手紙を預かっておき、一人一人に手渡す。</li> <li>・文章の長短があると思うので、読んでいる間優しい BGM を流すことで、音楽が流れている間はじっくり読むように伝える。</li> <li>・プライバシーには十分に配慮する。</li> </ul>	5分
終 末 あ た た め る	6	お家の人のお話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーとして保護者の方に来ていただき、我が子を大切に思う話をしていただくことで、児童に実感させる。</li> </ul>	5分

## 6 評価の観点

☆主人公の気持ちを自分自身の生き方と重ねてとらえることができたか。【発言 観察 ワークシート】

☆生きることを喜び、自他の生命を大切にしようとする心情が高まったか。【ワークシート観察】

◇児童の発言やつぶやきをつなげ、話し合いを深めることができたか。【発言 観察】

◇生きることを喜び、自他の生命を大切にしようとする意欲を高められたか。【発言 観察】

## 7 板書計画

<p>大切なたからもの</p> <p>○春人 弟 父 母</p> <p>・かわいい</p> <p>・小さいなあ</p> <p>・家の兄弟もそうだった</p> <p>・わたしもそうだった</p>	<p>病院でだっこした時</p> <p>・かわいいなあ</p> <p>・元気に生まれてよかった。</p> <p>・弟ができてうれしい</p>	<p>お父さんとお母さんがうれしそうに話すのを聞いている時</p> <p>・広人はうらやましいな</p> <p>・たからものって言われていいなあ。</p> <p>・ぼくはたからものじゃないのかな。</p> <p>・ぼくもそんなふうに言ってほしいな。</p>	<p>お父さんとお母さんに「大切なたからもの」と言われた時</p> <p>・ぼくも大切に思われていたんだな。</p> <p>・今度はぼくが広人を大切に するんだ。</p>	<p>の</p> <p>ぼく・わたしのたからもの</p>
--	--	--	---	------------------------------